進路だより

スキルアップ

第7号

青森県立八戸高等支援学校 進路指導部

令和6年10月25日発行

産業科・普通科3学年 産業現場等における実習

9月、10月に、産業科・普通科3学年の産業現場等における実習がありました。いい評価をいただいた点は強みとして受け止め、現状の課題を残り半年間で克服するために、日々の生活の中で改善に向けて取り組んでいきましょう。

[産業科3学年・実習した生徒の感想]

私は、ドラックストアで実習をしました。商品の品出しや前出し、駐車場の草取りをしました。 品出しでは主にペットボトルや缶の飲み物を担当しました。減ってきた売り場の商品をメモし、バックヤードで準備して店頭に並べました。前回は行わなかった草取りや納品後の仕分け、移動が大変でしたが、接客中に「ありがとう」と笑顔で言われたときにやりがいを感じました。就労や自立した生活に向けて、少しずつ働く時間を延ばすことや、仕事を見据えたコミュニケーション能力の向上を目指して頑張ります。

私は、食品工場で実習をしました。作業内容は、 段ボール積み、瓶流し、シール剥がし、シール貼りなどです。重い段ボールを高い場所に持ち上げ、 パレットに積む仕事が大変でした。しかし、前回に比べて時間に余裕をもって準備や仕事ができ、 相手の目を見て話をすることができました。段ボールを指定された場所に全て乗せ終えた時は、「やりきった」と強く感じました。仕事で大変なことはありますが、繰り返すたびに慣れ、後半は疲れよりもやりがいを感じました。改めて「ここで働きたい」と思いました。

現場の方々の作業スピードに追い付くよう、作業の仕方をよく見て、ペースを少しずつ早くしたいです。

私は、就労継続支援 A 型事業所で実習をしました。ニンニクの皮むき、公園の砂場の消毒、団地の草刈作業などをしました。初めての実習先だったため、経験したことがない作業や準備・後片付けに慣れるまで時間がかかりました。また、日によって作業場所が違うため、移動が大変でした。しかし、これまでの実習と比べると、集中して黙々と作業ができている自分に気付きました。仕事を終えた後は充実感を感じました。

就職に向けて、体力を付けていきたいです。

私は、物流に関する会社で実習をしました。作業内容は、台車作り、台車の移動、商品の仕分け・ 積み込み作業、ハンディでバーコードを読み込む 作業をしました。フォークリフトが動いている中、 台車やハンドリフトを安全に操作することが大変 でした。また、商品を台車に移すときに、数を問 違えないように運ぶことが大変でした。しかし、 周囲の人や商品にぶつけずに、安全確認をしなが ら台車を運ぶことができました。また、前期の実 習では腰を痛めてしまいましたが、今回は痛めず に働き続けることができました。最終日には、会 社の方々から「また来てね」「来年待っているよ」 と言っていただき、とても嬉しかったです。

何事も諦めず、頼れる社員になることを目標に、 普段の授業や専門教科でも最後まで積極的に取り 組んでいきます。

私は、就労継続支援B型事業所で実習をしました。作業内容は、クッキーの生地作り、型抜き、アイシング、ビーズアートなどです。力が必要で、生地をこねた後は腕がふるえました。型抜きやアイシングは繊細な作業で、商品を無駄にしないように作業することが大変でした。しかし、徐々にコツを掴み、上手にクッキーを作ったり、ビーズアートを制作したりすることができました。帰宅時には達成感を感じました。

自分に合った勤務時間を見つけ、少しずつ時間 を延ばしていくことができるよう、学校での学習 や休日の過ごし方、気持ちを伝えることを頑張り ます。

【実習の様子】











《一般事業所》

<実習した生徒の感想>

私は、車関係の事業所で実習を行いました。洗車、車内清掃、書類整理等を行いました。3回目ということもあり、仕事にも慣れてきました。しかし、声が小さいところが課題なので、学校生活でも意識して行動し、自分の課題を改善できるようにしていきたいです。卒業まで気を抜かず、自分を成長させることができるように頑張ります。



く実習先から>

洗車では、最初から最後まで1台の車を任せることができるようになりました。また、周囲とコミュニケーションをとりながら、作業もできていました。今後は、声の大きさを改善してほしいと思います。

《就労継続支援B型》

く実習した生徒の感想>

にんにくの芯を取ったり、皮を剥いたりする活動を行いました。 芯を剥くときに結構力が必要なことが分かりました。ただ、力を入れすぎると手が痛く なりました。たくさんの皮や芯を取りましたが、楽しい活動で、苦になりませんでした。 これからの学校生活では、立派な社会人になれるように頑張りたいです。



く実習先から>

今回の実習では「協調性、気遣い」を意識して活動に取り組んでいただきました。手助けが必要だと思う場面で、周囲を見て「手伝いますか?」と積極性が見られました。今後の生活にも活かせるスキルだと思いますので、これからの活躍に期待しています。実習お疲れ様でした。

《就労継続支援B型》

<実習した生徒の感想>

朝会で自己紹介と挨拶をしました。緊張しましたが前回よりも大きな声でできて職員さんに褒められたことが嬉しかったです。にんにくの皮むき、キノコや枝豆を使った料理、配膳、買い物などたくさんの仕事を経験できました。



く実習先から>

挨拶や返事などコミュニケーション面でとても成長が感じられ、他の利用者とも共通の話題で会話するなど、環境や周囲の雰囲気にも馴染んでいました。作業も少しずつ早くこなせるようになってきました。2週間という長い実習でしたがよく頑張っていました。

《生活介護》

く実習した生徒の様子>

実習では、写真切り作業と本を切ってチラシにする作業を行いました。職員さんの声かけや タイマーの活用により、前回の実習より長い時間持ち場を離れずに作業することができました。 慣れない利用者の方と同じ部屋であっても、安定して過ごすことができていました。



く実習先から>

前回の実習に比べると作業に取り組む時間が延びていました。作業面は心配ありませんが生活面で課題が少し残ったので今後の課題として取り組んでほしいです。